

おおくまの絆



1・6……成人式 2・3……FC フレンズ 4・5・7……スノーボード体験教室
8……桃の節句料理教室 9……アトリエ nobuya

C o n t e n t s

● 大熊町成人式	2・3・4	● 社協からのお知らせ	9
● 桃の節句料理教室	5	● スマイルネットワーク「アトリエ nobuya」	10
● スノーボード体験教室	6・7	● みんなのフォトギャラリー	11
● 開業・開店のお知らせ	8	● キラキラキッズ「FCフレンズ」	12

おめでとう 二十歳!



平成二十四年度

大熊町成人式

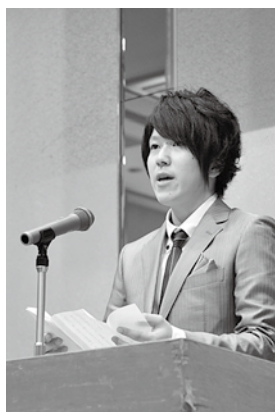
1月13日

会津若松市
ワシントン
ホテル

一月十三日会津若松市のワシントンホテルで成人式が行われ、新成人九十五人が晴れ着姿で式典に臨みました。

渡辺利綱町長は式辞で、江戸時代の農政家・二宮尊徳の「推譲には推譲をもつて応えよ」という言葉を新成人に贈り、「我々は多くの人の推譲に支えられている。そのことに感謝しみなさんが社会人として活躍し、今度は全国のみなさんを支えるようになっていただきたい」また、「中間貯蔵施設や廃炉に向けてのことなど、数十年の長い目で取り組まなければならない問題があります。そのことなどは私たち現役の人達だけで対応できることではなく、みなさんのような若い力の協力が必要になります。みなさんがこの『推譲』の言葉を胸に大きく羽ばたいてく

れることを期待しております」と激励しました。



謝辞を述べる吉田悠将さん

それに対し新成人代表の吉田悠将さんは「東日本大震災の爪あとには深く、厳しい状況が続いています。だからこそ私たちは自分の力で強く立ち、少しずつ前へ未来へと向かって歩んで行こうと思います。これからは大人として、一人の人間として社会の一員であることを自覚し、よく考え、責任ある行動ができるよう心がけ、私たちがこの大熊町に少しでも貢献できるよう努力し

てまいります」と謝辞を述べました。

息子さんが成人を迎えた菅野さんは「もう社会人として働いています。これから意識をもつて行動し、自分の出来る立場で町に貢献して欲しい」と話してくれました。大野小学校で六年一組の担任だった松本和榮さんは「それぞれので、自分のできることを前向きに頑張つて欲しい」とエールを贈りました。

式典終了後に行われた大熊中学校時代の恩師を囲んだ懇談会では、久しぶりの再会を喜ぶ顔に溢れました。会の中では、中学三年生の最後の学年集会の時に流したという、先生方自作の思い出のDVD映像の上映も行われ、懐





中学校時代の記憶がよみがえります

かしさに涙する姿もみられました。大熊中学校三年二組の担任だった山口麻弥さんは「この子達は思いやりがあつて、まともりもある素晴らしい学年でした。今日のために卒業アルバムで顔を確認して予習してきました(笑)。成長して立派になり、一瞬わからない時もありましたが、一言話せばあの頃に戻れました」とうれしそうに話してくれました。同じく一組の担任で、現在はいわき市の中学校に勤務している西(旧姓・鈴木)恵美さんは「この学年は高校三年生の時に震災に遭い、みんながどういった進路に就いたのかわかりませんでした。今日も何人の子達に会うことができるのかわかりませんが、たくさんの元気な顔を見ることができてうれしいです」と涙ながらに語ってくれました。

MEMO

二宮尊徳の【報徳思想】とは？

人は天・地・人の徳に報いるために、自ら徳行を実践しなければならないとの考え。財政再建に取り組む上で、経済力に応じた消費支出限度(分度)を守り勤儉節約し、^{ぶんど}節約して生まれた余剰を社会公共のために提供する(推譲)^{すいじょう}生活態度によって、困窮を救うことができると説いた。



久々にみんなに会えてうれしいです
 ……………掃部関 美幸 さん/会社員
 4月から幼稚園の先生としてがんばります
 ……………佐伯 仁菜子 さん/短大生
 大学院目指してがんばります
 ……………高橋 恵子 さん/大学生



研究者目指してがんばります
 ……………渡部 和也 さん/大学生
 大学院目指してがんばります
 ……………兎澤 佑 さん/大学生
 勉強がんばります
 ……………駒井 健太 さん/大学生

新成人 インタビュー



社会貢献に励みます
 ……………山本 涼介 さん/会社員
 ちゃんと進級できるようにがんばります
 ……………吉田 卓真 さん/大学生



久々にみんなに会うことができうれしかった
 ……………志賀 有紀 さん/専門学校生
 先生方にも会えてうれしいです
 ……………吉岡 萌 さん/大学生
 2年ぶりにみんなに会えてテンションあがってます!!
 ……………高橋 飛鳥 さん/会社員



思い出の タイムカプセル開封

会場には大野小学校のタイムカプセルの中身が置かれ、新成人達に返却されました。6年生の時に『8年後の自分へ』ということで埋められたもので、本来であれば今年の1月5日に小学校の中庭に集まり、取り出される予定でしたが、その場所に新しい図書館ができるということでタイムカプセルは掘り起こされ、小学校に保存されていました。その後、震災が起き、大熊町は警戒区域となりましたが、大野小学校の6年2組の担任だった佐伯哲夫さんが、一時帰宅の際にタイムカプセルを持ち帰り、この日まで保管していたということです。



Coming of age Ceremony Gallery



桃の節句

料理教室 に参加



2月23日、いわき市の好間公民館で「桃の節句料理教室」が開催され、市内の仮設住宅などから大熊町民の方に参加されました。



この料理教室は「いわき市健康推進員協議会内郷方部」が主催したもので、同会は、健康づくりのための料理教室や健康体操教室、医師による講話など、地域住民の健康づくりを目的に活動しています。この会が去年開催した「災害時に役立つエコ料理教室」に、大熊町の佐藤さんが参加したことによって顔なじみになり、今回の料理教室に8名の大熊町民が参加することとなりました。

今回の料理教室は、桃の節句を間近に控えているということで、ちらし寿司や桜もちなど、ひな祭りにちな

だメニューを作りました。当日は、近隣の方も併せて28人の方が集まり、3班に別れて作業をしました。8名の大熊町民もそれぞれの班に別れ、地域住民の方と交流をしながら実習を楽しんでいる様子でした。好間の仮設住宅から参加された大熊町民の方は「こういった料理教室は初めて参加しました。作る料理も初めてで、最初は勝手ばかりかもしれませんが、大熊の人が一緒だったので楽しめました」と話してくれました。教室に参加された協議会のメンバーの方も「とても楽しく、料理もおいしく出来ました」と笑顔で感想を語ってくれました。協議会代表の平澤豊子さんは「今度は大熊の郷土料理を作る教室も開催してみたいですね」と話してくれました。





思いっきり滑って！
思いっきり楽しんで！
思いっきり笑って！

CHILL スノーボード体験教室開催

二月十六・十七日の2日間に渡り、NPO法人「CHILL(チル)」主催によるスノーボード体験教室がアルツ磐梯スキー場にて行われました。大熊町の小学生五・六年生の三八名が参加しました。

当日はあいにく雪の強い日となりましたが、子ども達は広いスキー場でのびのびとスノーボードを楽しみ、トレーナーの方々の教えの元、転ぶ友達に手を差し伸べたりと学校の授業とはまた違った雰囲気の中、充実した時間を過ごしました。参加した子ども達からは「スキー場に初めて来てスノーボードも初めてだけど楽しい」、「友達同士と一緒に泊まれるのも楽しみ」とそれぞれの楽しみを感じていました。

また、ご協力されましたアルツ磐梯スキー場の佐藤支配人は「せっかく雪に近い場所に居るのだからこのスキーやスノーボードに親しんで楽しんでもらいたい。」とおっしゃっており、CHILL代表の小倉さんは「大変な思いをした子ども達にこの1泊2日の少しの時間でもスノーボードを通じて笑ってもらいたい元氣になって欲しいです。」と話されていました。





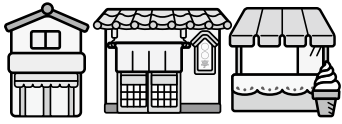
スノーボードの後はお食事タイム!楽しい思い出いっぱい!



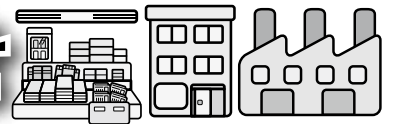
CHILL NPO法人 **CHILL**とは……

元々は1995年にアメリカのバートンスノーボードの創始者バートン夫妻が立ち上げたボランティア団体で、恵まれない子ども達にスノーボードを通して少しでも元気になって欲しいと願いを込めて活動しており、911の同時多発テロで親を亡くした子ども達もスキー場へ招待したそうです。

2003年には日本支部も発足し、阪神淡路大震災で被災した子ども達や、今回の東日本大震災で被災した岩手県釜石市、宮城県山本町でもスノーボード体験教室を開催されたそうです。



開業・開店のお知らせ



ハウスクリニック

伊藤 さん

【移転・再開のお知らせ】

震災より2年が過ぎ、地域・町をこえた復興、生活基盤の立て直しに御尽力されている事と思います。

この度、小名浜の仮作業所より微力ながら復興の役に立ちたいと昨年7月より下記に移転再開しました。

〒979-0206 いわき市四倉町狐塚字沼田64-1
●TEL 090-1065-5321(伊藤) ●FAX 0246-58-7055



Chinese Restaurant ニューチャいな

総料理長 角田 隆良 さん

皆様お元気ですか?『ニューチャいな』は郡山市で昨年8月にオープンし、大熊の方々にもたくさんご来店いただいております。

今後共、変わらぬ味と変わらぬ元気で皆様のご来店をお待ちしております。

営業時間/11:00~23:00(ランチタイム11:00~15:00/ラストオーダー22:00)

●五目やしそばセット 880円 ●鉄鍋棒餃子 530円 他

〒963-0205 郡山市堤1丁目86 新さくら通り沿い
●TEL・FAX 024-952-2177



募集

大熊町関連の開業・開店情報を募集しております!大熊町商工会まで、情報をお寄せください。

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号TEL■(0242)29-5770 FAX■(0242)29-5771

大熊町商工会ホームページ リニューアル版近日公開

大熊町商工会からの情報をよりスピーディーに、また遠方の方にも伝えられるよう、ホームページをリニューアルいたします。

現在のページ (<http://www13.ocn.ne.jp/~okuma119/>) は今後更新されませんので、ブックマーク等に登録されている方は、お手数をおかけしますが変更をお願いいたします。

▶ホームページURL

<http://shokokai-okuma.jp/>

3月中旬、公開予定



※画面は現在制作中のものです。



つながっぺ!おおくま 社会福祉協議会からのお知らせ

会津若松出張所 〒965-0873 会津若松市追手町2番41号(会津若松市役所 追手町第2庁舎内) TEL:0242-29-5760 FAX:0242-29-5761
いわき連絡所 〒970-1144 いわき市好間工業団地1番43号(大熊町役場いわき連絡事務所内) TEL:0246-38-8920 FAX:0246-38-8921

中通り・相馬地区避難者支援活動を開始

社会福祉協議会では、昨年12月中旬に二本松市に事務所を置き、相談員が中通り・相馬地区に避難している大熊町民の見守り・相談活動を開始いたしました。

訪問活動は二本松市から始まり、県北・県南と順次広げているところです。まだ訪問できない世帯やお会いできない世帯があり恐縮しているところですが、お会いできた方からは「よく来てくれた。」「大熊の人とお話できる機会ができて良かった。」とお声をかけていただいたり、避難先での苦労や今後の生活についてのお話を伺っています。皆様からお聞きした現状や困りごとは関係機関につなげ、安心した生活が送れるように支援していきます。

今後も避難の長期化に対応するため支援体制の充実を図り、各世帯の状況を把握しながら相談に応じていきますので、相談員が訪問の際はお気軽にお声かけください。



避難者宅の訪問活動



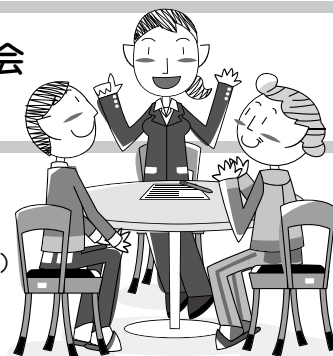
伊達市サロンに支援協力



連絡先

大熊町社会福祉協議会 中通り連絡所

〒964-0915
二本松市金色 421-10
(大熊町役場中通り連絡事務所2階)
電話：0243-24-1338
FAX：0243-24-1339



スマイルネットワーク

大熊のみんなの笑顔をお届け ④



菓子工房yokota いわき中央台店
ふらんす菓子とその仲間たち
Cream house
アトリエ nobuya

代表 **横田 信行**さん

震災前の30年間大熊町と富岡町で多くの方々に愛されてきた「横田菓子店」のオーナー横田信行さんが平成24年12月にいわき市中央台にて「菓子工房yokota いわき中央台店アトリエnobuya（ノブヤ）」をオープンされました。そこで今回はオーナーの横田さんにお話を伺いました。

オープンまでに苦勞した点は？

まず場所探しに関しては、始めはテナントを探したのですが予想以上に物件が少なく最終的に建物を建てるということになり資金面でも大変でした。また一から機材などの設備や道具・材料も全て揃えていかなければならなかった。その辺も苦勞しました。ですが、震災前から大熊・富岡の店舗に続き3号店はいわき市に新店しようと考えていたので思わぬ形で店を出すことになりましたが、「こんなお店にしたい」という夢のお店になったのでそこは満足しています。また、まだ双葉郡のお店をあきらめたわけではないので、いざ戻れるという時のためにここで力を蓄えていたいと思っています。

オープンされてからお客さまの反応はいかがですか？

双葉郡からのお客さまには「待っていました」と言ってもら

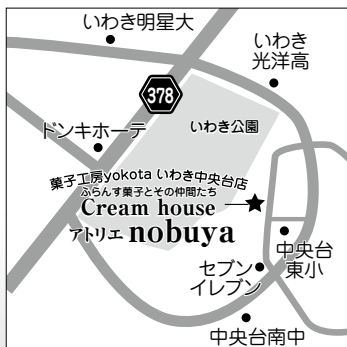
えました。店頭でもスタッフにお声を掛けていただき喜ばれてもらっているのかなと感じました。

この度、ご自身の名前を入れた「nobuya(ノブヤ)」という店名に込めた思いは？

いままで30年間、自分でお店をやってきたことを店名にして残したいという思いと、今回名前を変えたことで、この名前を呼ぶたびにあの日の人生が変わった出来事が忘れず思い出せるように、後生にも伝わって行けば良いなと思っています。

同じく避難されている方々へのメッセージをいただけますか？

人それぞれ置かれてる条件が違うので一概には言えませんが、もし事業をされていた方で再開の道がある方は是非とも再開していただき、例えどのような形でも自分の進むべき道を見つけてもらえればと思います。また皆さんに前向きに進んでもらえるよう、私もはお菓子を作って皆さんに笑顔で会えればと思います。



菓子工房yokota いわき中央台店
ふらんす菓子とその仲間たち
Cream house
アトリエ nobuya

福島県いわき市中央台高久1-13-2
 TEL.0246-38-8491
 FAX.0246-38-8492



みんなの
フォトギャラリー

今回の本誌でご紹介したスノーボード体験教室、サッカークラブチームのFCフレンズ、大熊町成人式での楽しい思い出の写真を再度ピックアップしてお届けします。

あの人に伝えたい「ありがとう」③みんなのフォトギャラリー 投稿募集中!

A あの人に伝えたい「ありがとう」

伝えたい「ありがとう」はありませんか?直接言うのが難しい、あなたの「ありがとう」の気持ちを紹介させてください。

直筆ハガキ、
絵手紙なども
OK!

B みんなのフォトギャラリー

みなさんがお撮りになった写真を募集しております!題材はなんでもOK!



- ①お名前②大熊町での大字名③現在お住まいの都道府県や市町村名をお書きください。※匿名をご希望の際は、その旨お知らせください。
 - Aの「あの人に伝えたい『ありがとう』」はメールの本文かテキストファイルを添付してご応募ください。ハガキ・封書での投稿もお待ちしております。
 - Bの「みんなのフォトギャラリー」は携帯メールかPCメールに画像を添付して、画像のタイトルやコメントも記載してください。
- ※掲載はモノクロになります。※ご応募いただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。

メールでの応募先

okuma@next-hamashin.co.jp (右のQRコードからもメールを送れます。➡)

郵送での応募先

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号
大熊町役場 会津若松出張所総務課「おおくまの絆」係





KIRA★KIRA KIDS

Vol.6

FCフレンズ (大熊町サッカースポーツ少年団)



お問い合わせ:FCフレンズ(工藤)

電話/080-6035-2816
メール/holy-hori516@ezweb.ne.jp

今回のキラキラキッズは、会津若松市内で活動中のサッカークラブチーム「FCフレンズ」です。

震災以前より大熊町の子も達を中心に結成されていたチームですが、震災でみんなバラバラになる中、再結成に向けて動き出したのは2011年の4月頃に、当時6年生だった父兄の方とコーチの方だったそうです。

「もう一度大熊町のみんなとサッカーがしたい!」その思いに応えるべく「会津・郡山サントスFC」というサッカーチーム等からも支援をいただきなんとか再開することが出来たそうです。

現在のメンバー数は6年生4人・5年生4人・4年生8人・3年生4人・2年生3人・1年生2人の合計25名で構成されており、子供たちの中には別の地元チームに所属しながらも大熊町の友達とサッカーがやりたいという気持ちで、公式試合には出れなくても練習に参加しているメンバーもいました。

父兄代表の工藤さんは「チームの目標というよりコンセプトはとにかく【楽しく】。試合に勝つことも大事とは思いますが、離れてしまった友達とサッカーが出来る場所として在ることの方が大事だと感じています。現在各学年のメンバーが少ない状況のため、決まった練習場所の確保が難しく活動日程は不定期ではありますが、初心者のお子様でも、運動不足を感じられるお子様でも構いませんので、ぜひお気軽にご参加ください。また大人の方でもコーチをやってくださる方がいらっしゃればこちらもぜひご連絡ください」と笑顔でおっしゃっていました。

またこちらでは子供たちがサッカーをがんばっている間、父兄の皆さんの交流の場にもなっているようで、参加されている子ども達や父兄の方々皆さんがとても明るく笑顔に溢れる場所となっていました。

みんなのおもいをつなげる大熊町コミュニケーション誌

おおくまの絆

2013年3月発行

発行  大熊町

大熊町役場 会津若松出張所
〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号 (会津若松市役所 追手町第二庁舎内)
フリーダイヤル 0120-26-3844 代表(8時30分~17時15分) FAX 0242-26-3794
E-mail okuma@town.okuma.fukushima.jp
ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>